

第13回昭和の森「親子田んぼ教室」

稲刈り

平田 稚江子（千葉市）

日 時：2025年9月13日（土）9：30～12：00 天気：曇り時々小雨

参加者：7家族19名（大人10名 子ども9名）

担当指導員：山下、平田 ビオトープの会：岡山 参加指導員：井上 管理事務所2名

曇り空でも蒸し暑く、体を動かすと汗が滴るような日でしたが、子どもたちは元気一杯、期待に満ちた笑顔で参加していました。

初めに岡山さんから、鎌の使い方、稲の刈り方、束ね方、おだ掛けの仕方の説明がありました。また、稲を刈る人、受け取る人、運んで束ねる人の3人一組で行って下さいとのことで、早速家族ごとに話し合う姿もほほえましく、どの家族も稲を刈る作業は子どもたちで、親がサポートしているのが印象的でした。泥に足を取られ転びそうになりながらも子どもたちは一所懸命稲刈りに精を出し、お父さん、お母さんが稲を受け取る、親子の共同作業がとても楽しそうでした。子どもたちはドロドロになりながらしっかりと働いてくれました。いつの間にかお父さんもお母さんも田んぼの中に入って稲刈りに参加、全体の共同作業となり、無事稲刈りを終えることが出来ました。

参加された方々からお米を作ってみて、大変さが分かったし、ご飯を大切に食べないとね、との声が聞かれました。

さて次は、子どもたちお楽しみの生き物調査。既にドロドロの子どもたち、田んぼや水路で思う存分網を振るって様々な生き物を捕らえてきました。虫網も大活躍、たくさんの生き物に触れることができました。

ニホンアカガエル、メダカ、ホトケドジョウ、シナヌマエビ、マツモムシ、カワニナ、オオタニシ、ヤゴ数種、ナツアカネ他トンボ数種、イトトンボ数種、オオカマキリ、小さいゲンゴロウの種類、バッタ類、コオロギなど田んぼの環境にたくさんの生き物がいることをみんなで確認し、元の住处に戻してあげました。

刈り取った稲が干されているところで、粃を剥いて一粒食べてみました。“お米の味がする”と子どもの声。田植え、草取り、そして稲刈り、みんなで頑張った作業も終わり、素敵な笑顔にあふれていました。

参加者からは、楽しかった、作業の大変さが分かり感謝の気持ちがわいた、子どもの楽しそうな姿を見て参加して良かったと思った、など多くの感想が寄せられました。



頑張って稲刈り



みんなでやったー！



アライグマの足跡